

広報

くどぎやま

二十歳を祝う会

2026

2月号

No.604





令和8年二十歳を祝う会

1月11日、九度山町ふるさとセンターにおいて、「二十歳を祝う会」が開催され、本年度二十歳となる方々が未来への希望と大人としての自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年は、平成17年4月2日から平成18年4月1日までの間に生まれた方々が出席しました。

会場には、華やかな振り袖や真新しいスーツ姿の方たちが、久しぶりに会う友人たちと思い出話や近況報告などに花を咲かせていました。

式典では、岡本町長をはじめ来賓の方々から激励の言葉が贈られました。

また、九度山保育所の子どもたちからもお祝いの歌やメッセージを送り、二十歳の方々を祝福しました。

式典終了後、二十歳の方々は、岡本町長と約30分間、フリートークを行い、現在の状況や将来の夢が語られました。

これから夢の実現に向けて歩んでいく皆さんのお祈りします。



マルチタスク車両お披露目式を実施

12月17日、役場駐車場において、マルチタスク車両のお披露目式が行われました。

今回、導入したマルチタスク車両は、車内に通信機器を搭載しており、集会所などからテレビ会議システムに接続することで庁舎職員からの保健指導や栄養指導などを受けることができるほか、マイナンバーカードの申請や確定申告などの各種相談業務を車内で提供することができます。

また、ラッピングをほどこした本車両により、特産の富有柿や真田グッズなどの物販においてプロモーションを実施することで九度山町のPR効果が期待されるほか、災害時などの有事の際には、車内での罹災証明の発行や物資支援、移動災害対策本部としての活用など町の課題解決に向け活躍が期待されます。



地域おこし協力隊の活動について

■清本 勝史

この秋は春、夏と手間をかけて育てた柿が実り、JAの研修は収穫を中心に活動しました。極早生や平核無の渋柿、つまりや富有などの甘柿に触れ、ようやく品種の違いも理解でききました。収穫した柿は選別し選果場へ運び一連の流れを作業を通して学んでいます。柑橘類の袋掛けやみかんの収穫もあり、木ごとに味を確認しながらの収穫で舌が少し肥えてきた気がします。

選果場では手選作業に加わる機会もあり生産者の皆さんとの交流も深まりました。

また収穫祭当日の運営補助や週1回程度ふるさと産品直売所の手伝いを行い、生産から販売までの流れを身近に感じる機会となりました。今後も季節の仕事を通して、町の一員として活動を続けていきます。



■佐野 隆馬

季節の移り変わりは早いものでいつの間にか冬の気温になってしましました。

JAの研修は、主に柿の収穫でした。極早生から富有柿まで長いなと思っていましたが、秋のようにあつという間に終わってしまったような印象でした。他には早生みかんの収穫もあり、実りの秋は忙しくも楽しいものです。

役場では、九度山町ふるさと産品直売所の運営の補助と収穫祭で柿のバケツ販売ブースの補助をさせていただきました。どちらも農家の方々とお話する機会が多くあり濃厚な時間になったと思います。

また、柿の品評会を手伝っている中で自分も上位に入賞できるような柿を作れるようたくさん話を聞いて吸収していきたいと思いました。



「税についての作文」九度山町長賞

全国納稅貯蓄組合連合会と国税庁が募集した中学生の「税についての作文」は、審査の結果、九度山中学校3年生の有馬佑里都さんの作品が九度山町長賞に選出されました。

九度山町長賞 「一番身近な税」九度山中学校 3年 有馬 佑里都

僕の両親は飲食業を営んでいる。小さい時から、休みの日に少し手伝いをしたり、両親や兄、姉が働いているのを見てきた。この夏、税金のことを考える時、一番身近な、外食の税について調べてみることにした。最初は、難しそうで、何となく面倒だなと思ったのが、本心だ。でも、自分の家にも深く関わる税金のことをしっかりと知ろうとした。

まず、外食にかかる税は、「消費税」になる。ニュースでもよく聞くが何に対しての税なのだろうか。物を買ったら支払う税、のイメージが強いけれど、実は、サービスの提供にも、この消費税がかかる。うちは、飲食店なので、料理を提供して、食べてもらうサービス業だ。消費税をどのように計算したり支払ってもらったりするのか興味がわいてきたので、続いて調べてみようと思った。

二〇十九年十月から消費税が10%になった。それまでの8%から引き上げられたそうだ。けれど、軽減税率制度が創設されて、飲食料品については8%だということだ。しかも、その上、外食（店内で食べる）のとテイクアウトで税率が異なるそうだ。僕の中の謎はさらに深まった。

基本的には普通にスーパー・マーケットなどで買える飲食料品は8%だそうだ。なぜ10%に引き上げられたのに、8%のままなのか、不思議に思ったが、生活する上で、食べ物を買う、という一番大事な部分で消費者の負担を軽くするためだと知り、納得した。誰でも平等に食べる、飲む、を繰り返すので、しっかりと考えられていると思った。

次に10%がかかる外食、テイクアウトだ。これはあらかじめ、僕の家の様に、飲食店が購入した材料を使い、料理を作り、商品として「売る」ので、通常の10%になる。洋服を買ったり、くつを買ったりするのと同じだと考えると、すんなり理解できた。

もう一つおもしろいと思ったのが、ぶどう狩りや、いちご狩りは10%の標準税率だということだ。これも、あらかじめ農家が「作った」フルーツなので、外食と考えることが分かった。

今まで、税金について、「難しそう」や「分からない」と思っていたが、自分にも近いところにある外食税や消費税について調べ、学んでみると、少しおもしろく感じたし、理解することができた。僕らが生活する上で必要な税金を納める前に、「知る」ことが大事だと思った。

佐川急便株式会社と防災協定を締結しました

12月8日、町と佐川急便株式会社との間で「災害における支援物資の受入及び配送等に関する協定書」を締結しました。

本協定では、大規模な災害等が発生した際に、各地から届けられる支援物資の受け入れや集積場所の確保の援助、避難所への配送、配送作業に係る人員と資機材の提供などが記載されています。

災害時は、国や県をはじめ、さまざまな団体・個人などから、支援物資が届きますが、これらの支援物資を必要とする方のものとに、迅速かつ的確に届けることは被災者支援において重要であり、佐川急便株式会社様のように、物流のノウハウを持つプロの方に支援いただくことは大変心強いものです。

なお、町では今後も、民間事業者や他市町村などに防災協定を呼びかけ、災害時の防災力の向上に努めてまいります。



▲佐川急便株式会社京都支店長の山元敏様（写真左）

紙遊苑を会場に「源氏物語絵巻 絵画展」が開催されました

紀の川市に在住する日本画家の満田彗峰画伯が、勝利寺の歴史にまつわる人物として九度山町史にも記述のある「藤原道長」（平安時代中期に朝廷に仕えた大臣で、歌人でもある。源氏物語作者の紫式部が「源氏の君」のモデルとした人物とされる。）を同寺や紙遊苑に強くイメージし、「この場所で『源氏物語絵巻絵画展』を開催したい」と熱望されたことから、絵画展がはじまりました。

これまで源氏物語第1帖「桐壺」から今春の第43帖「紅梅」までを展示しました。

11月22日、11月23日の両日で150名を超える皆様方においでいただき、今回は第6弾として第44帖「竹河」から第51帖「浮舟」までの作品を披露され、来場者の目を楽しませました。併せて満田先生のお知り合いの茶道の先生方によるお茶席も設けられ庭園を眺めながらお点前やお茶を大勢の皆様方にお楽しみいただきました。



子ども英語教室の皆さんが歌やゲームでクリスマス会を楽しみました！

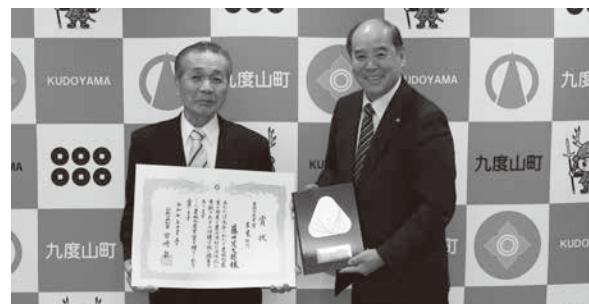
12月11日（木）公民館において子ども英語教室のクリスマスパーティが開催されました。2歳児から5歳児までを対象とした子ども英語教室では毎週、水曜日と木曜日に町内在住のクリス先生やアンジエラ先生に英会話を習っています。

当日は幼児や保護者を含めたたくさんの方々が参加され、子どもたちはゲームや英語の歌を歌い、サンタさんにプレゼントをもらい大喜びでした。



「和歌山県農林水産業賞」受賞

藤田茂太郎さんは、柿の栽培を中心に果樹経営を行い、新品種「紀州てまり」の実証や低樹高栽培による省力化等の新技術を導入し、家族経営協定や認定農業者制度の推進に尽力するなどの地域振興に貢献した功績が顕彰され、12月5日に和歌山県庁で行われた令和7年度和歌山県農林水産業賞を受賞されました。



地域優良賃貸住宅（さくら2号団地）入居者募集



■募集住宅摘要

所在地	構造	間取り	募集戸数	月額家賃
九度山	木造2階建て (2戸連4棟、3戸連2棟)	3DK 81.15m ²	14戸	54,000円

■申し込み資格

- ▽新婚世帯（婚姻の届け出が過去3年以内で夫婦がいずれも満40歳未満の世帯）
または子育て世帯（夫婦の間に小学校卒業前の子がいる世帯）であること。
- ▽すでに同居または同居しようとする親族がいる者。
- ▽入居しようとする者およびその親族、ならびに連帯保証人が暴力団員でないこと。
- ▽申し込み者本人と同居者全員の合計所得金額から控除額を引いて12カ月で除した金額（政令月収）が158,000円以上487,000円以下であること。
- ▽申込時点において、九度山町地域優良賃貸住宅及び九度山町単独住宅並びに九度山町町営住宅の入居者でないこと。

■申込用紙配付および受付期間

申込用紙配付 令和8年2月2日（月）～2月13日（金）
申込書受付 令和8年2月3日（火）～2月13日（金）

■申し込み手続き（提出書類）

申込書、所得証明書および住民票（入居しようとする者全員）、その他必要書類

■入居決定

入居申込者数が募集戸数を超える場合は、公開抽選により入居者を決定します。

■問い合わせ、申込用紙配付、提出先

建設課（☎0736-54-2019）

※詳しくは、募集の回覧または九度山町のホームページをご覧ください。

消防車両の引渡式を実施

12月15日、ふるさとセンター玄関前において、消防車両の引渡式が行われました。

今回、第2分団慈尊院班に、小型動力ポンプ消防積載車を更新・配備しました。

小型動力ポンプ消防積載車は、消防活動の主力となる車両で、持ち運びが可能な可搬式の小型動力ポンプを積載するものです。

今回の配備により、九度山町消防団の消火活動能力のさらなる向上が期待されます。



▲小型動力ポンプ消防積載車
(第2分団慈尊院班に更新・配備)

九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績！

第27回伊都地方中学生選抜ソフトテニスインドア大会が令和7年12月7日(日)に和歌山県立橋本体育館で開催され、優秀な成績を収めました。

結果（敬称略） ■女子の部

第3位 福嶋 結（6年）
・丹下 穂乃花（6年）ペア



▲左から、福嶋、丹下



左から：長畠、見平

九度山なぎなた教室

令和7年12月14日に和歌山ビッグウェーブで開催された創立40周年記念 第40回和歌山市なぎなた大会に出場し下記のとおり優秀な成績を収めました。

結果（敬称略） ■打ち返しA

優勝 辻松 葵璃

■男子個人

優勝 濱浦 裕介





消防関係の表彰として、次の方々に表彰状又は感謝状が贈られました。（敬称略）

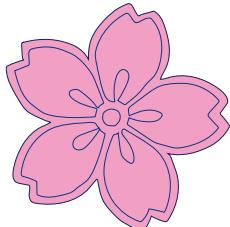
■和歌山県消防協会総裁表彰

◎20年勤続表彰

[第3分団]	尾鼻 美規
	馬場 勇
[第4分団]	徳谷 全昭
	松嶋 好朗
	岡 哲司
	三浦 保男

◎5年以上勤続の退団感謝状

中谷 弘
中谷 裕一
野中 義幸
川口 三男
刀岡 智枝満
池阪 勝次



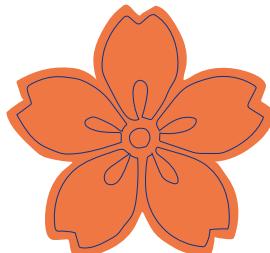
■伊都地域消防協会長表彰

◎功績章

[第1分団]	杉村 幸祐
[第2分団]	杉原 龍
	東 和也
	馬場 均
[第3分団]	上西 英司
	小川 泰司
	久保 雅之
	北沢 栄之介

◎10年勤続表彰

[第1分団]	角谷 香織
	梅下 哲弘
	松山 智紀
	木上 智晴
[第2分団]	杉原 龍
[第3分団]	久保 雅之



■九度山町長表彰

◎15年以上勤続退団感謝状

中谷 弘 中谷 裕一 野中 義幸 川口 三男 刀岡 智枝満 池阪 勝次

【消防関係表彰の伝達】

■消防庁長官表彰

◎永年勤続功労章

[第3分団] 野中 義幸



■日本消防協会長表彰

◎功績章

[本部] 団長 森 一司

◎30年勤続章

[第2分団]	海堀 靖雄
	中西 嘉伸
	堀内 康嗣
[第3分団]	楠 正勝



町の情報（令和7年12月31日現在）

■人口 3,628人（男1,646人／女1,982人）

■世帯数 1,811世帯

最新の情報を随時配信中！

町ホームページ



町公式
LINEアカウント

